

チームけせんの和 だより

2021
vol.30
3月号

発行 陸前高田の在宅療養を支える会（チームけせんの和）

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字東和野11番地 TEL 0192-22-8671 FAX 0192-22-8672

「チームけせんの和」に寄せて

社会福祉法人大洋会青松館 管理者 菅野 好子

青松館は、風光明媚なこの陸前高田市にて、平成10年7月、身体障がい者通所授産施設「青松館」として、米崎町にて定員20名で活動を開始し、クリーニング事業と部品組立事業が主力事業でありました。開所当時、気仙2市2町で30名近い身体障害者の就業希望者がいることもあり、福祉向上を図ろうと構想され、特に陸前高田市、住田町在住者に住み慣れた地に就労の場を設け社会参加・自立・復帰を願っている対象者の方々に通所授産施設という訓練の場を提供することにより、その願いを適える一助になり、ひいてはそれが社会的な理解へもつながっていくものと考え、建設が決定したと聞いております。

平成20年10月、分場「青松館せせらぎ」を矢作町に開所し、清掃事業と農業事業を始めました。令和2年4月には、「青松館せせらぎ」は「せせらぎ」として事業所を開所したことから、また新たに「青松館」として活動開始をしております。

現在は、陸前高田市、大船渡市、住田町にお住いの20代～70代の方々、40名程にご利用いただいております。障がいや病気のために働きたくても就業機会を得られない等の方々へ、障がい福祉サービス事業所（就労継続支援B型）として、クリーニング事業、印刷事業、清掃事業を主体に、福祉的な就労活動を提供しております。平成10年の開所当時から利用いただいている方は、60・70代になり、後進の育成にもご尽力いただいております。就労活動の提供をしながら、独居生活の方のご自宅の水道管が凍った際に家庭訪問、体調が悪い様子で寝たまの家族がいて心配との話で様子伺いに家庭訪問、主治医の先生の話が聞き取れない等一人で受診が不安な方には同行をすることもあります。私たちが、これまで活動を続けることができたのは、皆さまからいただいたたくさんのお仕事、そして関係機関の皆さまとのご縁のおかげ様と存じます。ありがとうございます。

最後になりますが、これからは「チームけせんの和」の一員として、高齢化社会に対応できる介護予防や健康増進も視野に入れ、この街が暮らしやすい街になるよう今後も活動していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。



2022年、陸前高田市で、きょうされん全国大会が開催予定です

市内のいちごパークの
看板印刷作業風景



介護保険事業所、医療機関の
リネンクリーニング作業風景

「チームけせんの和」に寄せて

デイサービス いわさき 管理者 岩崎 祐子

初めまして。この度、「チームけせんの和」に仲間入りをさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「デイサービス いわさき」は、平成30年10月に開設しました。定員10名の地域密着型のデイサービス事業を行っております。私共の基本理念は、常に利用者に寄り添い、誠実に真心を持って対応し、身体と心のケアに努め、地域高齢福祉の一助を担う事業所であるよう、丁寧なサービスを提供することです。そして、地域の皆様が、ご自宅にて健康で笑顔で過ごせるよう、職員一同より良いサービスを提供できるよう努力してまいります。



管理者



手作りカルタ

サービスの提供日は、月曜日から金曜日の午前9時から午後4時です。休日は土・日曜日となっております。基本目標は、我が家の延長線上で、のんびりと過ごせる温かくきめ細やかなサービスができる施設づくりを進めてまいります。

サービスの特徴は、①家庭的な浴室です。②利用者様に合わせた個別活動や体力の維持・向上に向けた機能訓練を実施しています。特に個々の能力や個性を最大限に発揮させ生きがいを持つことができるよう、日常のさりげない訓練を多く取り入れるよう心がけています。また、整骨院が併設されているので、柔道整復師によるマッサージが受けられるのも大きな特徴です。③そして日常はわいわい楽しく、みんなで集まるとそこはまるで家族のような雰囲気になります。

メンタル面におきましては、その人らしく、安心して日常生活が送れるよう、お一人おひとりの気持ちに寄り添い、まごころ込めてサポートしてまいります。

屋内では体操やストレッチ等、あるいはゲーム、春夏秋冬二十四節気の暦を大事にし、季節に合わせた行事、例えばお正月、節分豆まき、ひな祭り、お花見、七夕、敬老会、文化祭、クリスマス会、お誕生会等、季節感あふれる行事等を取り入れ充実した介護事業を心がけております。

更に、制作活動、歌や踊りっこなど、お楽しみがいっぱいです。当施設は、いつも笑い声が絶えないアットホーム的な運営により、利用者様と職員が楽しく過ごしております。コロナ禍にあっても、感染予防対策を取りながら利用者様と一緒に頑張っております。

ご興味がある方は、是非、見学・体験利用（無料）をお勧めします。お気軽にご相談ください。お待ちしております。



昔の思い出

令和3年3月16日(火)

令和2年度 第3回研修会

陸前高田市コミュニティホール

(会場参加 56 名、オンライン参加 35 名)

テーマ：「今 この時を 大切に生きる ～未来に向かって～」

講師 陸前高田市国民健康保険広田診療所長 岩井 直路 氏



このたび、陸前高田の在宅療養を支える会会長の岩井先生が3月末で退任することとなり、コロナ禍において感染予防を万全に整え、今回は初めてオンライン形式も取り入れ開催しました。先生は診療所勤務以外に地域に38回出向いて講演会や研修会で伝えてきた体と心の健康法を改めて説明しました。

先生は、①様々な助言・意見を傾聴できる心、②人のつらさ・悲しみ・喜びに共感できる心、③前向きにチャレンジし一歩踏み出す3つの心を大切に、自身も病気と向き合った経験を生かして「健康」に生きる方法や、さけられない「老い」の受容について説明し、アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）を活用する必要性も話されました。

また陸前高田での取り組みを写真で振り返り、「この3年間、地域の医療を取り戻そうと頑張ってきたが、当たり前前日常は当たり前でなく、日々小さな奇跡を積み重ねていると知った」とも話されました。

初のリモート配信



齋藤福祉部長と



終了後参加者と共に



座長 副会長
田畑県立高田病院院長



ソーシャルディスタンスの確保



副会長菅原管理栄養士と

チームけせんの和での思い出と思い

陸前高田の在宅療養を支える会 会長（国保広田診療所長） 岩井 直路



劇団ばば☆転倒予防 DVD 出演

今年の3月11日で東日本大震災から10年。皆さんは、ひとことでは言い尽くせない様々な思いが交錯していることだろう。私は陸前高田に来てまだ3年だが、「チームけせんの和による人と人との繋がり」が復興への歩みの強い土台になっているように思う。これから、この絆・繋がりを大切にしてもらいたいと願う。

諸事情から私は、今年の3月で陸前高田での勤務に区切りをつけ、千葉県で働くことにした。会長としてやり残したこともあり残念な気持ちもあるが、チームけせんの和とオンラインで繋がれることを楽しんでいる。「劇団ばば☆」の健康啓発DVD制作は大変だったが、良い思い出となった。撮影だけでなく、差入れのおにぎりを頼張り、語り合い、NGでの笑いなどもあり、苦楽を共にした仲間になれたように思う。着任時から皆さんには優しく接して頂き心より感謝している。

被災地の医療支援をしたいとの思いから陸前高田に来ることにしたが、私の医師人生の中で、病院では得られない、首都圏（都会）では得られない、暖かさ、優しさを感じることができ、この選択・決断は「自分の中では」良かったと思う。肝心なことは、医療支援により復興の力になれたかどうかだ。「支援とは？」と自問自答しながらの3年間だったが、少しは役にたっただろう。

医療介護の方々と同じ目線で語りあった。ケアマネはじめ皆さんとても頑張っていると思い、敬意を払い接してきた。根岬梯子虎舞の大太鼓を経験するなど町民とも積極的に交流してきた。好きでやったことかも知れないが、医療支援という枠組みを超えた関わりができたことにより、町民に対して元気を与えるなど何らか力になれたように思う。

地域包括ケア、健康増進、認知症、アドバンス・ケア・プランニングなど健康・地域医療に関する講演は、気仙医療圏にて38回行った。皆さんの記憶に残り、行動変容に繋がっていることを願う次第だ。

ハードの復興はほぼ一区切りつき、これからは広い意味でのソフト・心の復興だろう。ワクチンの効果に期待するものの、新しい日常「ニュー・ノーマル」を考えなくてはならない厳しい状況が加わった。「どうにも答えの出ない・対処しようのない事態に耐える能力」をネガティブ・ケイパビリティという。コロナ禍において、この能力を大切にすることが必要だと思う。新たな仕組み・ITも取り入れた「ニュー・チームけせんの和」による今後の活動に期待したい。3年間ありがとうございました。



梯子虎舞参加ハッピー姿

編集後記

新型コロナウイルスの猛威はいまだに続き、今年度のチームけせんの和研修会の開催は限られたものになりましたが、先日の第3回研修会では岩井会長の強い勧めもあり初のオンライン研修も取り入れ、おかげさまで無事行うことができました。岩井会長は千葉に戻られますが、3年間でいただいた学びを生かし地元のつながりをさらに深めながら、これからはネットを積極的に活用し岩井会長ともつながって行きたいと思います。